

総合計画 市長あいさつ

二本松市長 三保 恵一



平成17年12月に二本松市、安達町、岩代町、東和町が合併し、新二本松市が誕生してから15年が経過しました。

二本松市総合計画は、まちづくりの指針となる最上位計画です。時代の動向を見極め、市を取り巻く状況や直面する課題を分析し、未来に向けての対応策を示しています。このたび令和2年12月に第3次となる「二本松市総合計画」を策定し、10年間のまちづくりの方向性を示しました。

まちづくりの方向性として目指す将来像は、市内に通う中学生・高校生から「将来暮らしてみたいと思う未来の二本松の姿」を募集し、「笑顔あふれる しあわせのまち 二本松」としました。「笑顔」を育む、たくさんの可能性を持った二本松市で、市民の皆さん一人ひとりが、「しあわせ」を実感することができるようにと、二本松の将来を担う子どもたちの思いが込められています。

この計画策定期間中は、新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、日本でも各地において感染が拡大し、いまだ予断を許さない状況が続いています。こうした新たな危機にも柔軟に対応できるよう、経済、社会、さらには人々の行動・意識・価値観などに変化をもたらすデジタル化の動きに注目しつつ、「人」・イノベーションへの投資や、SDGsの目標でもある、誰一人取り残すことのない社会づくりを進めます。そして、目指す将来像の実現に向け、本市を取り巻く諸課題に真摯に取り組み、市民感覚・市民の目線で、市民の声を大切にする「市民が主役の市政実現」を進め、「いのち」「しごと」「くらし」の各施策で、さらに二本松を成長させてまいります。

結びに、本計画策定にあたりまして、貴重なご意見、ご提案をいただきました二本松市振興計画審議会委員の皆さまをはじめ、市民アンケート、パブリックコメントなどにご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

